

## NPO-CSIの発足について

理事長 吉田典可  
(広島市立大学情報科学部)



学術系地域インターネット運営任意団体としての「中国・四国インターネット協議会(CSI)」は1993年3月から活動を開始し、主に大学等の研究機関や教育機関を対象として学術、研究、教育及びその支援を目的として当地域におけるネットワークコミュニティの健全な発展に向けて地域社会に貢献してきました。時間や空間の制約から人間を解放し、情報の流通を革新的に飛躍させるインターネットは、国境のないグローバルな社会の伸展を促すに至り、地域の発展を期すにはその独自性と普遍性を一層高めることが重要になってきました。また他方では、新しい価値観に基礎をおいた人間行動をとおしてより豊かで活力のある地域の形成とその発展を図るのに、インターネットが重要な役割を担うものと期待されています。

CSIでは、1999年5月に開催された総会の決定に基づいて、それを母体とする特定非営利活動法人としての認証を取得後、本年9月登記を完了しました。10月1日開催の認証記念「地域ネットワークシンポジウム」で披露しましたように、新しく発足した「特定非営利活動法人中国・四国インターネット協議会」(NPO-CSI)では、学術研究や教育の諸組織、自治体等の非営利組織を対象としたインターネット接続サービスに加え、新たに当地域における情報流通の円滑化と効率化を図るインターネット相互接続(地域IX)サービスを提供しています。また、従来実施してきた関連技術の研究開発、啓発普及の諸活動に加え、社会教育や他のNPOの支援などの活動を更に拡大し、当地域における情報通信基盤の一層の伸展に貢献することを目指しています。

具体的には、インターネット接続サービス提供、研究研修、及び情報提供の3事業を主軸に特徴ある活動を展開します。特に、これまで3か所に分散配置して運用してきたネットワーク接続拠点(NOC)を1か所の接続拠点(PoP)に集約し、24時間365日ノンストップ運用を目指すとともに、中立公平な立場で運用する新しいインターネット相互接続拠点(地域IX)の実現により、地方分権へ向けた諸活動や相互連携地域社会の形成に大きく寄与できるものと期待されます。

会員各位をはじめ皆様方の一層のご協力ご支援をお願い申し上げます。

### CSI役員・運営委員

理事長	吉田典可
副理事長	相原玲二、小関祐二
理事	佐々木正人、染岡慎一、椿康和、前田香織、谷照子
監事	大場充、片山博昭
運営委員	相原玲二(委員長)、染岡慎一(副委員長)、佐々木正人、前田香織、八城年伸、原田隆、西村浩二、河野英太郎、今井一雅、玉井基宏、前田真理、山崎綾子 (2000年5月26日現在)



お祝いのメッセージ：  
「CSIが拓いた道」

JPNIC理事  
柏インターネットユニオン常任理事  
**林 英 輔**  
(麗澤大学国際情報学部教授  
情報システムセンター長)



中国・四国インターネット協議会( CSI )が昨年9月にNPO法人格を得て、NPOとしての活動を開始されたことは、以下に述べる二つの理由から、非常に大きな意義のあることと思います。第一は、1998年に我が国で特定非営利活動促進法が施行されて以来ネットワーク運用組織として初めてのNPO法人であり、ネットワーク運用組織でも行政が認可するNPO法人となることができることを証明したことです。現在の多様な社会的活動の担い手として、行政や企業の活動と並んで、非営利セクタの活動が必要であることが広く認識され、国の行政としてもその促進を掲げなければならない状況になってきております。福祉をはじめ多くの分野でのNPO法人が生まれ、その数が2000近くに達しているものの、情報ネットワークの利用環境を提供・運用する活動を実際の目的とする組織の意義を行政が理解し、NPO法人格を認定するかどうかの試金石に、CSIは挑戦したわけであります。そして後に続く組織に道を開拓しました。

第二の理由は、我が国にインターネットの普及の初期からボランティア活動として活動してきた各地の地域ネットワークが、その後のインターネットの急速な展開と変化、企業プロバイダの増加によって、もはや単なるインターネットへのコネクティビティ( 接続環境 )の提供のみではその役割は終わり、一方、行政主導による地域情報化が始まりつつある状況のもとでは、地域ネットワークの活動も大きな曲がり角にきた時期に、行政と協力して住民の立場からみてもしっかりした情報ネットワーク利用環境を築く活動の担い手になり得る道としてNPO法人活動を選択したことです。CSIは地域ネットワークの次世代の進路を実証しました。私が属する柏インターネットユニオン( KIU )では、先週開かれた今年度総会で、NPO法人格取得の活動方針を承認し、準備委員会を発足させました。



特定非営利活動法人設立記念  
「地域ネットワークシンポジウム」を開催

平成11年10月1日( 金 )に広島市の八丁堀シャンテで、NPO法人設立記念シンポジウムが開催されました。基調講演として、慶應義塾大学環境情報学部教授 村井 純 氏により「インターネットをとりまく世界動向について」の講演が行われました。参加者は180名でした。

## ～ ネットワーク接続の要～

### CSI PoPのご紹介

副理事長・運営委員長

相原 玲二

(広島大学総合情報処理センター)



PoPとはPoint of Presenceの略で、ネットワーク接続拠点を示しています。PoPはアメリカの次世代インターネット研究プロジェクトで使用されはじめたもので、そこでの情報交換速度が1秒あたりギガビット(1Gigabit=1,000,000,000bits)に達するというので、GigaPoPと呼ばれることもあります。CSIのPoPも将来GigaPoPさらにTeraPoP(1Terabit=1,000,000,000,000bits)を目指し整備を行ってゆく予定です。無停電電源設備などを備え、セキュリティー対策も万全の場所(ハウジングスペース)に設置されているCSI PoPの主な役割は次のとおりです。

#### 特定非営利活動に関する情報発信

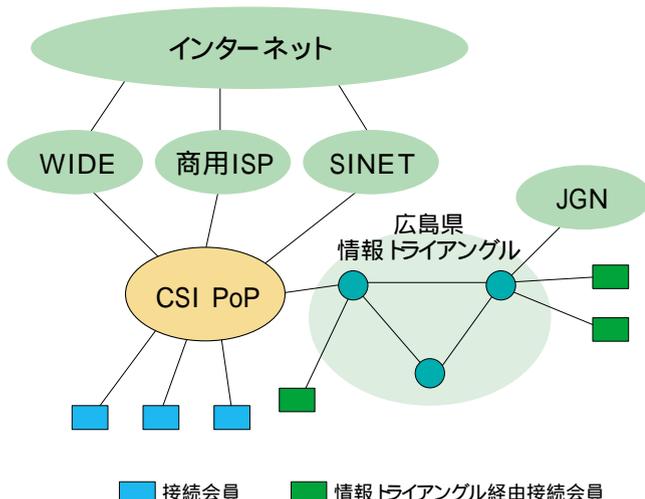
当地域におけるインターネットの普及啓発活動に関する情報の発信、CSIの会員への情報提供などを行うための各種サーバが設置されています。これらのサーバはCSIが支援する各種イベントにも利用される予定です。

#### 接続会員のインターネット接続

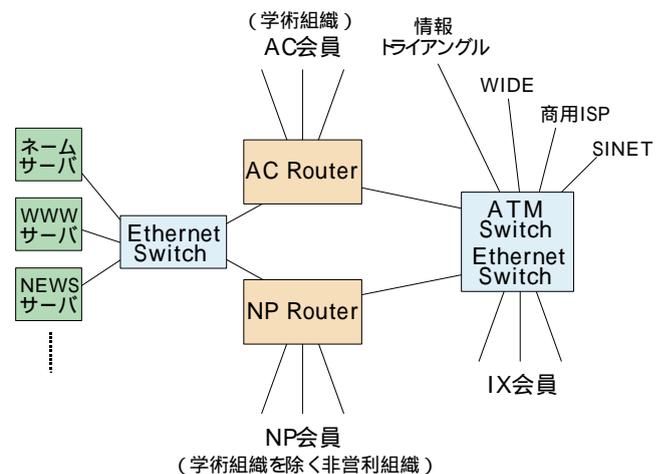
接続サービスを受ける団体正会員を接続するためのATMスイッチやルータが設置されています。PoPを経由して接続会員間の相互接続を行います。さらに、SINET、WIDE、商用ISPとも接続(IX接続会員を除く)されています。

#### インターネット実験の拠点

広島県が推進する情報トライアングル実験ネットワークへ接続し、地域インターネット環境構築実験や次世代インターネット実験を行っています。さらに、郵政省が推進するギガビットネットワーク(JGN)へも、情報トライアングルを経由して接続し、地域間相互接続実験を行います。



CSIネットワーク接続構成



CSI PoPシステム構成

## CSI部会活動の紹介

### 【運用技術部会】主査 西村 浩二（広島大学総合情報処理センター）



学術研究中心の技術であったインターネットは、今や我々の生活に不可欠な技術となりつつありますが、ライフラインとしての安定性が求められる一方で、新技術による変化を絶えず繰り返すという不安定な面も併せ持っています。このような状況で、ネットワーク技術者が安定運用に気を配りつつ、最新の技術を追いかけるのは困難と言えます。運用技術部会ではネットワークの運用管理に興味を持つ方を中心に、関連技術や知識を交換・共有する場のほか、広島県情報トライアングルやJGNなどの実験ネットワークを利用して経路制御、ネットワークセキュリティ、IPv6、マルチメディアデータの利用などのテーマで研究開発を行う場を提供していきたいと考えています。

### 【利用促進部会】主査 玉井 基宏（広島市立鈴張小学校）



利用促進部会は、インターネットの利用全般の促進を目的に活動しています。まず第一弾として、社会教育組織「安佐北ネット」（代表 石田寛治さん）の支援が始まっています。安佐北ネットはインターネットを核にして、地域住民のコミュニティを活性化することを目指した活動です。さらに本部会では、「ネットデイを核とした地域コミュニティ活性化推進活動」支援や「初等・中等・高等教育のインターネット利用」支援なども計画しています。さて、利用促進部会を盛り上げるのは、みなさんのアイデアと情熱です。インターネットを利用した活動のアイデアをお持ちのあなたからの連絡をお待ちしています。

### 【企画広報部会】主査 八城 年伸（広島大学経済学部）



企画広報部会の役割は、大きく分けて二つあります。一つは、今、読まれている広報誌の編集・発行で、年に2回程度の発行を予定しています。もう一つはホームページの作成・編集で、他部会の活動や広報誌とリンクしながら、CSIのいま、をお伝えしていきます。ホームページはトップページですが4月にリニューアルし、広報誌もこうして皆さまにお届けすることができました。部会員全員が企画広報を担当するのは初めてとあって、色々手探りのところがありますが、皆さまのご意見が、よりよい広報誌とホームページを作る源となります。これからの企画広報部会をよろしく願います。

### 編集後記

インターネットを使って、すべての原稿と写真が集められてできあがったCSI広報誌第1号、いかがでしたでしょうか。この広報誌は、CSIのホームページからPDFでダウンロードもできることになりました。CSIの情報発信の窓口の一つとして、From:CSIを今後ともよろしくお願いいたします。

2000年5月26日 企画広報部会・広報誌編集担当 今井一雅、山崎綾子

